



「触りながら読む」読文を実現：Yu bi Yomu

～なぞり動作を利用した動的な文章表示方式～

どんな研究

“Yu bi Yomu”はタブレットPC端末の特徴を活かした**新しいデジタル文章表示方式**です。読者が画面を指でなぞると、その位置の文字が現れては消えてゆきます。文字表現に時間的な情報を加えることで、そこに**話し言葉を持つようなリズム、抑揚、余韻を感じる**ことができます。

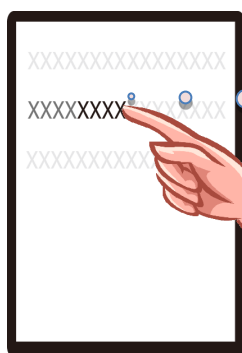
どこが凄い

“Yu bi Yomu”は文字の現れ方・消え方を変化させるだけで、**文章内容の印象**を変化させることができます。また、自分で読むだけでなく、なぞり動作で生じる**動的な文章を記録、送付**することで、個人の特徴や感情を表現する豊かな文字コミュニケーションを行うことができます。

めざす未来

文字と音声の中間的な特徴を持つ“Yu bi Yomu”は、**新たな文章表現**の可能性をひらきます。また、メール文や電報といった電子的な文章のやり取りに、書き手の**思いをより豊かに伝える**手段を提供します。将来的には、教育支援分野への適用も視野に入れていきます。

動的な文字表示となぞり動作を組み合わせることで話し言葉のようなリズム、抑揚を持つ文章表示方式を実現



生き生きした読文印象



薄く表示された文字に触れると文字が徐々に現れ、消えてゆきます。



使用法1：自分でなぞり動作を行う

自分のなぞりによって文字が現れ・消えることで、声を出して文章を味わうような、深い読文が行えます。

使用法2：作成した表示を送付する

作成者はなぞり動作で生じる動的な文章を記録して、他の人に送付します。受信者は送られた動的な文章を再生することで、作成者の抑揚まで含めた文章が伝達されます。

特徴1：時間的特性を付与した文章表示 Dynamic text (ダイナミックテキスト)

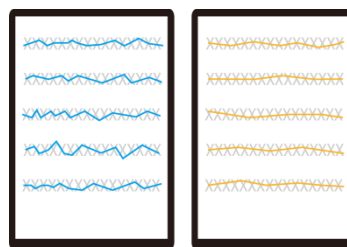
→文字の出現・消滅時間の操作によって異なる読文印象が生じることを実験で確認しました。



触れてからの時間 →

特徴2：なぞり動作による文字表示制御

→指先の動きの違いで、簡単に抑揚や、個人の違いを作り出すことができます。



読文時のなぞり動作の違い

関連文献

- [1] 丸谷和史, 植月美希, 安藤英由樹, 渡邊淳司, “ユーザのなぞり動作に基づく動的な文章表示形式,” 情報処理学会論文誌, Vol. 53, No. 9, pp.1-11, 2013.
- [2] K. Maruya, M. Uetsuki, H. Ando, J. Watanabe, ““Yu bi Yomu”: Interactive reading of dynamic text,” in Proc. ACM MultiMedia, 2012.
- [3] 丸谷和史, 渡邊淳司, “文書表示装置, 文書表示方法及びプログラム,” 特願2011-168229, 2011年8月1日.

連絡先

丸谷 和史 (Kazushi Maruya) 人間情報研究部 感覚表現研究グループ
E-mail : maruya.kazushi[at]lab.ntt.co.jp ({at}の部分をもに置き換えてください)